

広報

びょうよう 特集号

地域子育て支援センターだより



10/1

平成28年(2016年)

発行 城陽市  
編集 子育て支援課

お問い合わせは 子育て支援課 (〒610-0195 城陽市寺田東ノ口16番地、17番地 ☎56-4036 FAX56-3999)へ

人形劇団 クラムラ

# 11ぴきのねこと あほうどり

大人気11ぴきのねこシリーズ  
第3弾!!

原作/馬場のぼる (こぐま社刊)

脚色/松本則子  
演出/藤田光平  
人形美術/永島梨枝子  
舞台美術/西島加寿子  
音楽/一ノ瀬季生  
照明/永山康英  
舞台監督/奥洞昇  
制作/松澤美保

地域子育て支援センター事業  
劇場公演

©馬場のぼる/こぐま社刊

日時: 11月19日(土) [開場] 13:30 [開演] 14:00 [終演] 15:20

場所: 文化パーク城陽 フラムホール 対象: 市内在住の乳幼児とその保護者

費用: 無料(整理券が必要です。詳しくは裏面へ)

お問い合わせ: 子育て支援課 ☎(56)4036

# 地域子育て支援センター事業 劇場公演

市では、「子どもと大人が感動とよろこびを共有できるまちづくり」を基本理念に、「城陽市子ども・子育て支援事業計画」を策定しています。

この計画を総合的に推進するために様々な事業に取り組み、全ての子どもの健やかな成長を実現することを目標としています。

今回、子育て支援事業の一つとして、劇場公演を実施します。ぜひご鑑賞ください。

## ■入場整理券の配布■

### 10月7日(金) 配布開始!!

◎配布場所は、各コミセン、文化パーク城陽、男女共同参画支援センターぱれっとJOYO、地域子育て支援センターひなたぼっこ、子育て支援課です

◎整理券は、1人1枚必要です。無くなり次第配布を終了します。お早めにお越しください

## ■ご来場の際の注意■

◎入場の際、整理券を係員にお渡しください



## あらすじ

ニャゴ、ニャゴ、ニャゴ、ニャゴ、ニャーゴ!

11ぴきのねこは、みんなのねこ。そして、いつもはらぺこ。

ある日、11ぴきのねこは広いジャガイモ畑を見つけます。みんないっせいにジャガイモにかじりつきますが、そのままではまずくて食べられません。

「ジャガイモといえばコロツケだ!」

そこで、みんなでコロツケを作ることになりました。ジャガイモをあらって、ゆでて、つぶして、パンこをつけてあぶらであげると、コロツケができました。

「こんなにおいしいコロツケ、われわれだけで食べてはもったいない!」

11ぴきのねこは、コロツケ屋をはじめます。お客さんが次々とやって来て、お店は大はんじょう。でも、夕方になるとお客さんはぱったり来なくなり、残ったコロツケを自分たちで食べることに。

「もう、コロツケはいりません!」「鳥の丸焼きが食べたいねえ〜。」と、そこへ、1羽の旅のあほうどりがコロツケを買いにやってきました。

「こんなにすてきなコロツケを兄弟たちにも食べさせてやりたい。」

島には10羽の兄弟が待っているの、コロツケを作りに来て欲しいと言います。

11羽のあほうどりを丸焼きにして食べてしまおうと考えた11ぴきのねこは、気球に乗って、あほうどりの島へと向かいます。しかし、そこで待っていたのは・・・。



## 地域子育て支援センターの事業

- ・「あそびのひろば」訪問：市立保育園および富野幼稚園
- ・フレイルーム：親子で一緒に遊べ、親同士の交流も楽しめる場の提供
- ・子育て相談：来所、電話、ファクスによる相談（火～土曜日の9：00～16：00 ☎・FAX(55)9260)
- ・子育て支援講座：地域子育て支援センター主催、各地区民生児童委員協議会、私立保育園と共催
- ・情報紙発行：「子どもワンダーニュース」（隔月発行） ・子育てサークル活動の支援
- ・公園訪問（訪問する公園は「子どもワンダーニュース」に掲載） ・多世代交流事業の開催